

# 銚子ジオパーク市民の会ニュース

第89号

2018年10月25日

発行責任者：工藤 忠男

編集責任者：藤身 隆雄

TEL 0479-24-2225

<http://choshi-geopark.com/>



ジオっちよ



屏風ヶ浦遠望

## 第9回日本ジオパーク全国大会

アポイ岳大会に参加して 工藤 忠男

2018年ジオパーク 持続可能な開発目標(SDGs)は2015年の  
全国大会は10月6日よ 国連サミットで採択され  
り8日まで北海道の様似 た「持続可能な開発のた  
町で行われました。町の めの2030アジェンダ」  
人口は4千3百人位です に記載された2030年  
が、全国大会参加者は約 までの国際目標です。  
7百人といわれ、大会時

会場周辺は活気に満ちて 銚子ジオパークは他  
いました。 地域のジオパークとの交  
流は盛んですが、もう一

大会初日の基調講演は 一つは、次の再認定の時  
世界ジオパーク・ネット いては、次は考えなければな  
ワーク会長、ギリシャ・ らない大切な事かと思  
エーゲ大学教授のニコラ いました。減災・防災分科  
ス・ゾウロス氏による 会については機会があり  
「ジオパークの魂：世界 ましたら、報告いたしま  
ジオパークネットワーク す。

講演ですが日本語訳付き  
です。世界各地のジオパ  
ークの例をあげながらの  
講演です。

ジオパーク活動で大切  
な事はジオパーク・ネッ  
トワークを通しての情  
報・アイデアの共有、  
それと持続可能な発展  
(開発・社会)です。この、



アポイ岳全国大会アイヌの踊り

## 「備えあれば憂いなし」ガイドツアーの リスクマネジメント分科会

小玉 健次郎

「備えあ ぞれのGPでどのよう  
れば憂いな なリスク対応や、お客様  
しーガイド 誘導をしているかを紹介  
ツアーのリ し合いました。ガイドを  
スクマネジ しているプレジオツアー  
メント分科 のスライドを見ながら、  
会」が2日に 予見されるリスクを指摘  
分けて開催 し合うワークショップで  
されました。 は、何故そんな重要な保  
初日は、ナ 全場所へ立ち入ったのか、  
キウサギな 河原や岩場を移動すると  
ど希少生物 きの歩き方を指導したの  
を探すプレ か、見せたい話したいと  
ジオツアー いう意識が安全意識より  
「プロガイ 強すぎるのではないかな  
ドと歩く『風 ど、厳しい指摘もありま  
穴の森』トレ した。

を、とちかち鹿追ジオパー  
ク(以下GP)の松本宏樹  
氏がが行い、次に筑波山地  
域(GP)の高田正澄氏が  
「ガイドジオツアーの安  
全管理」として、ガイド  
が携帯すべき装備品の話  
をしました。

参加者は6人ずつ6つ  
のテーブルに分かれ、そ  
う、2日目は、事故・ヒヤ  
リハット事例の説明、ガ  
イド保険の紹介などがあ  
り、楽しく、安全にツア  
ーをすることを最優先す  
るために、どのような配  
慮が必要かを学ぶ良い経  
験をしました。ジオツア  
ーをする前に、トイレの  
案内をするガイドが多い  
こともあらためて認識し  
ました。

## KONSAI(昆虫祭・根菜)

ジオツアー 日 丸瀬布 昇州 文字

10月3日から2泊3  
日のプレジオツアーに内  
匠さんと参加しました。  
今年の全国大会で知り  
合ひ、銚子にも来てくだ  
さった、白滝ジオパーク  
のガイドさんからお誘い  
を受けての参加でしたが、  
今年度の日本列島は災害続  
きで、北海道も7月の豪  
雨でツアーコースの山道  
が寸断され大急ぎで復旧  
したら、8月の台風でま  
た壊れ、9月には地震  
大会前日まで台風で飛行  
機が飛ばかしらと気をも  
んでの開催でした。  
羽田から旭川へ飛び、  
旭川空港で集合。ツアー  
の参加者は、私たちを含  
めて11名。皆さん黒曜石  
の大好きな方々でした。  
着いた当日は「じゃが  
いも選別体験」。翌日は、  
朝6時から遠軽のシンボ  
ルであるインカルシ(が

らぼう岩という高さ78  
mの大きな岩にのぼって  
町を一望。そして黒曜石  
の石器作り体験。作った  
石器で、シカと熊の肉を  
切ってバーベキュー。山  
彦の滝にも行って、滝の  
裏側にはいりました。地  
元の黒曜石研究家の私設  
博物館にもおじゃまし  
ました。  
イランカラフテ\*  
イランカラフテ\*  
君に逢えてよかった  
今日はいいい日だ  
\*イランカラフテ  
アイヌ民族語で「こん  
には、あなたの心にそ  
つとふれさせてください」  
という意味です。



収穫したてのジャガイモの選別体験